

7月号では、「クレジットカード、カードローンと上手につきあう方法」についてご紹介しました。今月は、「お金のトラブルを避ける」について、詳しく学んでいきます。

お金のトラブルを避ける ～お金に関するトラブルを避けるため、以下の知恵を身に付けましょう～

◆契約の基本を身に付ける

- ◇契約書は、よく読むことが大切です。わからない点は質問し、重要な内容は書面にしてもらいましょう。
- ◇友人に頼まれて借金の保証人になると、友人が払えない場合（自己破産した場合を含む）、代わって払わなければならないようになります。連帯保証人になると、友人が支払える場合でも、保証人に請求がくれば支払わなければならないようになります。
- 借金の保証人や連帯保証人になるのではなく、相談窓口を教えてください。

◆ライフプランを立てる

就職・独身期・結婚・出産・教育（子育て期）・住宅・退職・老後など、人生のイベントや段階ごとに、自分の希望や計画を時系列で描くライフプランをしっかりと立てていれば、危うげな話を遠ざけやすくなります。

◆モノやサービスを購入するときは、お金に見合った価値があるか、よく考える

- ◇迷ったり、少しでも不安を感じたら、周囲の信頼できる人の意見を聞いてみましょう。
- ◇はっきりと断る勇気も必要です。

◆「自分がきちんと理解できる金融商品しか買わない」と決めておく

そもそも、しくみを理解できない商品を買うのは危険なことです。金融商品を選ぶときに、「自分がきちんと理解できる商品しか買わない」と決めておけば、だまされたり想定外の損失を被る可能性は小さくなります。

◆金融商品は「信頼できる業者からしか購入しない」と決めておく

お金は、一生懸命働いて手に入れるものです。そのお金を怪しげな業者に預けて、なくしてしまうわけにはいきません。どのような業者が信頼できるかは日頃から自分の基準を考えておきましょう。



◆金融商品を選ぶ場合、選択のための情報を得る

金融商品を売り手側から情報を得るときは、複数から情報を集め、比較しながら検討するようにしましょう。